

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	日々、職員はお手伝いの声掛けをしているが、今後も引き続き、入居者個々の役割作りを増やすと共に、季節行事の楽しみも取り入れていきたいと考えている。	入居者一人一人に合った役割作りをし増やしていく。	入居者一人一人できる事、盛り付け・配膳・お盆拭き等促しながら日々の役割を増やし、持てるように支援する。	6 ヶ月
2	35	前回の外部評価以降、ハザードマップや避難所記載の書類も入手し、想定される自然災害の確認も行われた。今後は更にその他の災害想定(土砂災害や地震等)の訓練方法を検討すると共に、防災計画の作成に向けた検討を行う予定である。	想定される自然災害に備え、防災計画書を作成し、訓練を行う。	ハザードマップや地元消防職員から情報収集・アドバイスもらい、地域や法人と連携した防災計画書を作成し、それに沿って防災訓練を実施する。	12 ヶ月
3	33	医師の指示も頂きながら、終末期ケアを行っていきたいと考えている。終末期ケアを経験していない職員も多く、今後もグループホーム連絡協議会等の外部研修を受講する等、勉強の機会を検討していく予定である。	入居者にとって最後までより良いケアが受けられるよう周知を図る。	外部研修を通して勉強の機会を増やす。	12 ヶ月
4	4	高齢化が進んでいる地域でもあり、この町で暮らし続ける為の情報交換や、必要な関係者との話し合いの機会を作る等、今後も会議の議題の検討を続けていく予定である。	お互いがこの町で暮らし続ける為の情報交換・関係者との話し合いの機会を作る。	参加者から議題を募り、それについて年間話し合う。	12 ヶ月
5					ヶ月